



Yes か No か、災害時の選択をみんなで考えよう。

防災 クロスロード ゲーム



宮崎県地域づくりネットワーク協議会 令和元年度地域課題解決モデル事業

目的

防災をテーマとした世代間交流事業の実施

経緯

南海トラフ地震の可能性が高まっている中、各地域の中で必要になってくるのは防災対策の認識と世代間の交流であると感じる。

「防災」という誰にでも関係するひとつのテーマに沿って、地域を構成する多世代多職種の方と、意見を交換しながら考えてもらう。

同時に、各世代間のギャップ等も認識していきながら交流を深めていく。

クロスロードとは？

「クロスロード」は、災害対応のジレンマを伝承する防災カードゲームとして、24年前の阪神淡路大震災に関わった方々の体験談から生まれる。

震災後インタビュー研究の成果物「クロスロード」

■「クロスロード(CROSSROAD)」

- ①進路を決すべき「岐路」「分かれ道」
- ②人と人が出会う場所、活動場所

開発者：矢守克也(京都大学)

吉川肇子(慶応義塾大学) 網代剛(ゲームクリエイター)

登録商標(2004-83439)

※京都大学生協で販売



「クロスロード」の役割

- 伝える

あなたは…「食料担当の職員」

被災から数時間。避難所には3000人が避難しているとの、確かな情報が得られた。

現時点で確保できた食料は2000食。

以降の見通しは、今のところない。

まず2000食を配りますか？

YES (配る)

OR

NO (配らない)

あなたは…「被災者」

大きな地震のために、小学校体育館に避難しなければならない。

家族同然の飼い犬、“モモ”もいるが…

一緒に避難所に行きますか？

YES (行く)

OR

NO (行かない)

「クロスロード」の役割

●伝える → 誰もが遭遇するかもしれない・・・答えのないピンチ

ジレンマ(=困った・迷った)を伝え・考える

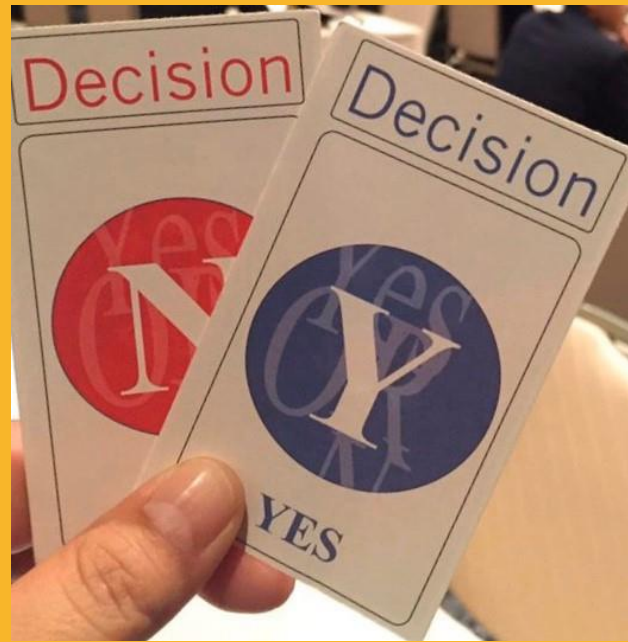
⇒ 「私だったらどうする!？」

「クロスロード」の役割

●伝える → 誰もが遭遇するかもしれない・・・答えのないピンチ

ジレンマ(=困った・迷った)を伝え・考える
⇒ 「私だったらどうする!？」

●共有する



「クロスロード」の役割

●伝える → 誰もが遭遇するかもしれない・・・答えのないピンチ

ジレンマ(=困った・迷った)を伝え・考える
⇒ 「私だったらどうする!？」

●共有する → 世の中には色々な人がいて・・・

多様な考え方・価値観がある ⇒ 「そんな考え方もあるのか!」

「クロスロード」の役割

●伝える → 誰もが遭遇するかもしれない…答えのないピンチ

ジレンマ(=困った・迷った)を伝え・考える

⇒ 「私だったらどうする!？」

●共有する → 世の中には色々な人がいて…

多様な考え方・価値観がある ⇒ 「そんな考え方もあるのか!」

●吐き出す



「クロスロード」の役割

●伝える → 誰もが遭遇するかもしれない・・・答えのないピンチ

ジレンマ(=困った・迷った)を伝え・考える
⇒ 「私だったらどうする!？」

●共有する → 世の中には色々な人がいて・・・

多様な考え方・価値観がある ⇒ 「そんな考え方もあるのか!」

●吐き出す → 心に抱え込む色々な想いや経験があって・・・

様々な経験と教訓の伝承ができる ⇒ 「こんなことがあった!」



YesかNoか、災害時の選択をみんなで考えよう。

防災 クロスロード ゲーム



その時あなたは どうしますか？

今年も多く多くの災害が全国各地を襲い今でも復旧・復興活動が続けられています。宮崎でもいつ起きてもおかしくないと言われている南海トラフ地震や、大きな被害を及ぼしてきた台風など、決して他人事ではない大災害が起きた時に、自分ならどう行動するのか？そんな「もしも」の時の選択をシミュレーションできる「クロスロード」を通して、災害時の対策について地域のみなさんと一緒に考えていきましょう。

イエスカノイカ、どちらを選択するのか、その時のモヤモヤが大切なんです！

クロスロードとは？

クロスロードとは、阪神・淡路大震災で神戸市議員が実際に直面した「災害対応のジレンマ」をカードゲーム化したものです。ルールは、質問に対しYesかNoを決めるだけ。災害を自分の身に引き寄せて考えると同時に、他者のさまざまな考えを知ることができる、災害シミュレーションゲームです。

定員 **30名** 参加費 **無料**

対象

- ・地域を愛する人
- ・消防団
- ・行政関係者
- ・防災士
- ・各地区区長さん
- ・社会福祉協議会関係

講師 徳永 伸介 氏 くまもとクロスロード研究会 代表 熊本県の消防士

@ **2月1日(土)**
10:00~12:00
川南公民館
(社会福祉協議会2階大広間)

@ **2月1日(土)**
14:00~16:00
新富町総合交流センター
「きらり」大集會室

@ **2月2日(日)**
10:00~12:00
道の駅つの一の宮交流館
大会議室

お問い合わせ：NPO法人 都農 enjoy スポーツクラブ
TEL:0983-25-5255 E-mail:tsuno_e_sc@yahoo.co.jp
主催：宮崎県地域づくりネットワーク協議会 児湯ブロック

お申込みの
詳細は裏面を
ご覧下さい。

事業の流れ

- 熊本市での防災クロスロードを体験
- 新富町、川南町、都農町の各町役場と連携し参加者を募る。
- 熊本県より研究会所属の講師を招き、各町の会場にて「防災クロスロードゲーム」を実施。
- 終了後には参加者にアンケート等を実施し次年度の事業へとつなげていく。



■川南会場



■ 新富会場



■ 都農会場

■アンケート

Q: またこの勉強会があったら参加したいか？

<新富会場> 回答者20名

- ①ぜひ開催されれば参加したい 55.0%
- ②自分達も開きたい・広めたい 40.0%

<川南会場> 回答者20名

- ①自分達も開きたい・広めたい 50.0%
- ②ぜひ開催されれば参加したい 35.0%

<都農会場> 回答者23名

- ①ぜひ開催されれば参加したい 52.2%
- ②自分達も開きたい・広めたい 34.8%

< 評価 >

目的である誰にでも共通して備える必要がある防災をテーマにした世代間交流は、とても意義のあるものだった。

家族で参加されてる方は、同じ家庭の中でも親子で考え方の違いを知ったり、経験や環境の差がある人同士が、相手の立場にたって考えた判断結果が正反対に分かれたり
少数派の意見だと思っていたが、話してみると賛同を得たり

自分とは違う 判断、思考、経歴、価値観をもつ人たちで 家族や組織、地域が構成されていることを知り、
特に不測の事態が起きた時は普段からのコミュニケーションがとても大事なことを学んだ。

今回の参加者の中から自発的に、今後今回の防災クロスロードをツールとし、このような機会を企画したいという声も多くきかれた。ぜひ次年度の実現にむけて繋げていきたい。